



ほけんだより

2月号



2022年2月
万博れんげ保育園

1月は新型コロナウイルスの急拡大で、大阪の多くの園でクラスターや休園となっていました。寒さはまだまだ続きそうですが、登園している子どもたちは元気いっぱい外で遊んでいて、職員も元気をもらえます。感染面で気が抜けない毎日ですが、こまめに換気をしたり、手洗いうがいを徹底して、体調管理に努めていきましょうね。

1月の感染症情報

感染性胃腸炎
...2名

大阪府でも感染性胃腸炎が依然流行しています。胃腸炎のウイルスは様々あるため、1シーズンに何度も罹ることがあります。引き続き注意していきましょう。今年度もインフルエンザの発生は現在のところありません。しかし、インフルエンザB方の流行シーズンは2月以降が多いです。B型は高熱がでないことも多く保育園では流行しやすいため、今後の流行動向に注意しましょう。

コロナ・オミクロン株について

年始から急激に新型コロナウイルスが拡大しており、特に子どもの感染者数がデルタ株より多くなっています。現在のほとんどのコロナをしめているのがオミクロン株です。オミクロン株の特徴として、これまでのコロナより感染力は3倍以上とされています。

<オミクロンの症状>

・鼻水・鼻づまり・のどの痛み・短期間の熱・咳など…

今までコロナの特徴とされていた、味覚嗅覚障害はみられないとされています。

今後、コロナワクチンが5歳～11歳の年齢で接種可能となりますが、保育園児は4歳以下が多いため、引き続きリスクが高くなります。

潜伏期間が短く2～3日ということで、今までよりはやめの対応が必要になりますので、引き続きご協力をお願いします。

乳幼児健康診査について

吹田市では、

- ◎ 4か月健診
- ◎ 乳児後期健診 (9か月～1歳未満)

- ◎ 1歳半健診
- ◎ 3歳児健診

◎ 2歳半歯科健診
があります。

個別健診
(クリニックで)

集団健診
(保健センター)か
個別健診を選択

} 集団健診のみ

健診時期には市からお知らせの封筒がきます。コロナの状況によって時期が少し変更になる場合もあるようですが、健診は子どもの健康や発達を定期的確認し、相談できる大切な機会です。

お知らせがきたら、遅らせてずに受診しましょう!
園でも健康面や指導内容を共有させていただきたいため、健診後は健診内容を担任にお知らせください。

<集団健診と個別健診の違い>

1歳半健診と3歳児健診は、健康面だけではなく、発達面をみてもらう重要な健診です。

この2つの健診は、保護者が集団か個別か、健診場所を選択します。コロナ禍になり、かかりつけ病院などの個別健診に行かれる方が多いかもしれませんが、しかし、集団健診は様々な専門の職種が集まり、様々な視点から健診をしてくれます。今回は、それぞれの違いをお知らせします。

<個別健診について>

医療機関や日程を選んで受診でき、かかりつけであれば慣れた場所で健診できる。しかし、小児科医のみに診てもらうこととなる。

<集団健診について>

吹田市保健センターで決められた日程で受ける。小児科医以外にも、保健師、発達相談員、栄養士、保育士、歯科医師など、多種の専門職に診てもらえ、相談できる場がある。健診結果の状況に応じて、保健師が健診後のフォロー体制を組み、継続的にフォローしてもらえる場合がある。